



銅駝美工は、
「京都市立美術工芸高校」
として新たな道を歩みます。

京都市立美術工芸高校移転
御寄付のお願い

わくわく

2023 京都駅東部へ



京都市立美術工芸高校

Illustration: Anju Yasui

アートので、 未来をソウゾウする学校をつくる。

京都市立銅駝美術工芸高等学校 校長 名和野 新吾



平素より本校の教育活動に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校は、明治 13 年に我が国初の公立美術学校である「京都府画学校」を起源とし、140 年を超える歴史と伝統ある美術専門高校です。卒業生は、累計 8600 名を超え、これまで文化勲章受賞者 8 名をはじめ、多くの卒業生が国内外の美術工芸界や産業界の牽引役として、御活躍されており、京都だけでなく、我が国の文化芸術の発展に貢献されてきました。

令和 5 年度には、同じ起源を持つ京都市立芸術大学(京都芸大)とともに、京都駅東部の崇仁地域に移転し、校名も「京都市立美術工芸高校」に改称し、新たな道を歩んでまいります。今回の移転は、京都市として「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生するという大きな使命の下、進められる事業であり、本校もその一翼を担ってまいりたい、と固く決意しております。

さて、現在、美術教育は大きな転換期を迎えています。AI の進展等に伴う将来の予測が困難な時代の中で、ビジネスをはじめ、社会全体において、美術教育がもたらす感性や創造力、ゼロからイチを生み出すクリエイティブな発想や課題解決力、更には内的なモチベーション等が求められており、美術の社会的価値が高まるとともに、美術を学ぶ意義も変化しています。

改革のキーワードは「美術『を』学ぶから美術『で』学ぶ学校へ」。

自ら問いをたて、深く思考し、試行錯誤しながら何事にも挑戦し続ける力が必要となっています。そのような力を、美術を通して身につけ、時代を切り拓く青年を輩出することが、本校に課せられた大きな使命であります。

こうした認識の下、移転後には、美術の知識や技能を学ぶだけでなく、将来を見据えた創造性を育む学びや課題解決型・教科横断的な学び、ICT を活用したハイブリッドな学び、京都市立芸術大学(京都芸大)はもとより、様々な外部機関と連携した実社会に繋がる学び等を充実し、美術でとことん深く、幅広く学ぶ活動に取り組む予定です。

また、新たな校舎には、生徒作品の展示やイベントが開催できるスペースを設置し、子どもたちはもとより、地域・市民の皆様や京都に訪れる皆様などにも楽しんでいただける企画にも取り組んでまいりますので、どうぞ御期待下さい。

美術を学んだ者の強み。それは「想像」と「創造」です。「想像」とは、なにかを想い描くこと。「創造」とは、なにかを生み出すこと。この2つのソウゾウは、人のココロを動かし、未来に新しい価値をつくりだします。「アートを通して、未来をソウゾウする学校をつくる。」そのような学校の実現に向けて、皆様からのお力添えが大きな支えとなります。どうか温かい御理解と御協力を心よりお願い申し上げます。

令和 4 年 4 月



美工作品展の様子

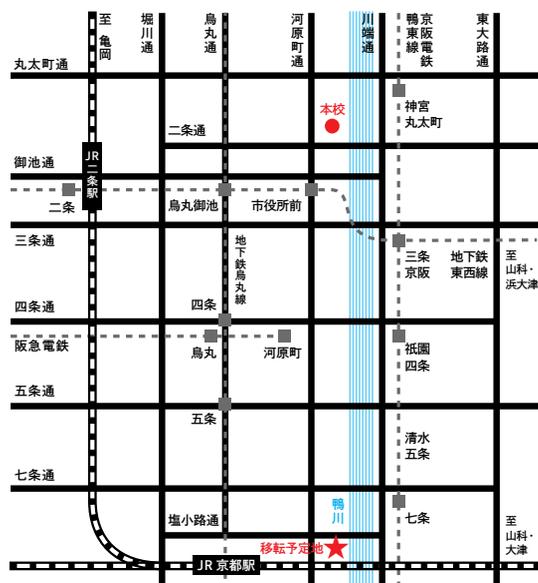


生徒作品

本校の移転に伴う教育環境の充実に向け、 皆様の温かい御寄付をお願いします。

令和5(2023)年 4月、 銅駝美工は京都駅東部地域へ移転します。

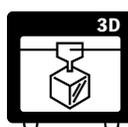
令和5(2023)年4月、本校は、鴨川を望む京都駅東部の崇仁地域に新築移転し、新たに京都市立美術工芸高校として開校します。隣接する京都市立芸術大学(京都芸大)とともに、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生を目指します。新校舎には、専門的な実技に対応する実習室や、デジタル技術を活用した現代アートなどの多様な美術領域に対応する特別教室を新たに配置するなど、教育環境の充実を目指します。また、1階に、学校主催のイベント開催や、生徒作品を展示することができる開かれたスペースを整備します。



完成予定イメージパース

寄付金の使途

教育環境の整備充実や、様々な外部機関と連携した学びなど、学校教育の充実のためには、卒業生や保護者の皆様、また京都で美術を学ぶ高校生を応援いただける皆様からの御支援が大きな支えとなります。いただいた寄付は、**作品制作のための専門備品の充実、図書室の蔵書の充実・施設整備、国内外の最先端のアート機関や、世界で活躍するアーティストに学ぶ機会の充実**などに活用させていただきますので、その趣旨を御理解いただき、寄付への御協力を心よりお願い申し上げます。



申し込み方法 1,000円以上から御寄付いただけます ※クレジットカードによるお申し込みの場合

京都市教育委員会では、ふるさと納税制度を活用し、本市高等学校及び総合支援学校を「学校単位」で応援する寄付事業「母校を応援！京都市立高校・総合支援学校支援事業」を実施しています。本事業を活用して、銅駝美術工芸高校への御寄付をお願いします。なお本事業において返礼品は設けておりませんので予め御了承ください。

① 税金の一部が控除されます

[個人の場合]

個人住民税所得割額の概ね2割までの寄付金であれば、2,000円を超える全額が控除されます。

※京都市在住の方も控除対象です

[法人の場合]

寄付金の全額を損金算入することができます。また、本社所在地が京都市外の企業の方は、「企業版ふるさと納税」制度（寄付額の約9割が軽減され、実質的な負担が約1割）を活用することが可能です。

※「企業版ふるさと納税」制度は申込方法が通常と異なりますので、下記の京都市教育委員会総務課ふるさと納税担当までお問合せください。

② 寄付先の学校を選べます

下記の京都市立高校及び総合支援学校から【5】銅駝美術工芸高校を選択してください。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 【1】伏見工業高校 | 【10-1】塔南高校 |
| 【2】京都奏和高校 | 【10-2】開建高校 |
| 【3】京都工学院高校 | 【11】北総合支援学校 |
| 【4-1】西京高校（全日制） | 【12】白河総合支援学校 |
| 【4-2】西京高校（定時制） | 【13】東山総合支援学校 |
| 【5】銅駝美術工芸高校 | 【14】東総合支援学校 |
| 【6】京都堀川音楽高校 | 【15】鳴滝総合支援学校 |
| 【7】堀川高校 | 【16】西総合支援学校 |
| 【8】日吉ヶ丘高校 | 【17】呉竹総合支援学校 |
| 【9】紫野高校 | 【18】桃陽総合支援学校 |

【手続き方法】

A：クレジットカードによるお申し込み（個人寄付のみ）

インターネット上からお手続きをいただけます。

※対応カード：Visa,Mastercard,JCB,American Express,Diners Club

※クレジットカードの支払い方法は、一回払いのみとなります。

B：寄付申出書によるお申し込み

申出書に必要事項をご記入いただき、郵便、ファクスまたは電子メールにより右記に送付してください。なお個人以外の名義（法人、任意団体等）で寄付をされる場合は、本様式を御使用ください（個人名義でも使用可能）。

クレジット手続き、申出書のダウンロード、
その他の詳細な情報の確認はこちらから。



【お問い合わせ】

京都市教育委員会総務部総務課 ふるさと納税担当

〒604-8161

京都市中京区烏丸通三条下ル饅頭屋町 595-3

大同生命京都ビル 9階

TEL:075-222-3767/FAX:075-256-0483

メールアドレス：kyoikusomu@edu.city.kyoto.jp

